



学級経営 スタートガイド 【全30日】

若手教師が迷わず動ける！
1日1アクションで学級が安定する

初任から3年目までの先生へ。
これは“学級づくりの地図”です。

✦はじめに

4月、新しいクラス、新しい顔ぶれ、そして新しい自分。

教室に立つあなたは、期待と不安の両方を抱えているのではないのでしょうか。

- 「最初の一言で失敗したらどうしよう...」
- 「この子たちと信頼関係を築けるだろうか」
- 「何から手をつけたらいいのかわからない」

1年目～3年目の先生にとって、4月は勝負の1か月です。

でも、どんなに経験豊富な教師でも、最初から“完璧な学級”をつくることはできません。

このPDFは、そんなあなたの「毎朝の不安」を「今日やるべきことがわかる安心」に変えるための
30日分の“学級経営ロードマップ”です。

- ☒ 毎日の行動が具体的にわかる
- ☒ 子どもとの信頼関係を築くコツが見える
- ☒ クラスを安定させる“黄金の流れ”が見えてくる

ひとつずつ実践していけば、1か月後には

「このクラスでよかった」と思える日が、きっと訪れます。

明日の教室に、自信と笑顔を持って立てますように。

それでは、「学級経営・最初の30日」を一緒に歩いていきましょう。

☑ 使い方ガイド：この PDF の効果的な使い方

この冊子は、「明日、何をすればクラスが安定するか」が毎日わかるように作られています。
学級経営に悩む時間を減らし、「今やるべきこと」に集中できるサポートツールです。

■ 1. 毎朝 1 ページ読むだけで OK！

- 朝の準備時間に 1 ページ読むだけで、今日の動きが見えてきます。
 - 「やること」「声かけ」「裏技」「注意点」がセットで書かれているので、そのまま実行するだけでクラスが動きます。
 - 朝読めなかったときは、休み時間や給食中でも構いません。「今から何をすべきか」がすぐにわかります。
-

✦ 2. 迷ったときの“緊急チェックリスト”

- ✓ クラスがざわついている
- ✓ 子どもがこちらを見なくなった
- ✓ 一部の子だけが目立ってしまう
- ✓ 指示が通らない・反応が薄い

そんなときは、その日の「声かけ」だけでも実行してみてください。
教師のひと言が、クラスの空気を一変させる力を持っていることを、あなた自身が実感できるはずです。

👉 3. 「全部やらなきゃ」は不要です

- 忙しい日もあります。全部できなくて大丈夫。
- 一つでも実行すれば、クラスに“安心の種”がまかれます。

この冊子は、完璧な指導を目指すものではなく、
“教師も子どもも、安心して成長できる毎日”を与えるためのものです。

次のページから、1 日目が始まります。
あなたと子どもたちにとって、大切な学級経営のスタートを一緒に支えます。

内容

✨ はじめに	2
✅ 使い方ガイド：この PDF の効果的な使い方	3
1 日目からの具体的なポイント	6
📅 1 日目：出会いがすべてを決める日	6
📅 2 日目：ルールを「与える」前に、“理由”を話す日	6
📅 3 日目：「日常の流れ」を覚えてもらう日	7
📅 4 日目：「リーダーを育てる」仕掛けを始める日	7
📅 5 日目：「安心のサイン」を送る日	8
📅 6 日目：「係活動」をクラスの“誇り”にする日	8
📅 7 日目：日常の「ルーティン」を“無意識”にする日	9
📅 8 日目：1 週間のふり返りと「小さな感動」を共有する日	9
📅 9 日目：「チャレンジする空気」を生む日	10
📅 10 日目：「先生と子ども」の距離を縮める日	10
📅 11 日目：話の聴き方を「文化」に変える日	11
📅 12 日目：「目が合う安心感」を広げる日	11
📅 13 日目：「できた子」より「頑張った子」に注目する日	12
📅 14 日目：「対話」がうまれる教室に近づく日	12
📅 15 日目：「先生が観てくれてる」安心感を届ける日	13
📅 16 日目：「ミスしても大丈夫」を伝える日	13
📅 17 日目：「係活動」に息を吹き込む日	14
📅 18 日目：「誰かのために動ける人」を育てる日	14

 19 日目：授業中の「集中力」を高める日	15
 20 日目：「空気を感じて動ける子」を育てる日	15
 21 日目：「子どもが主役」を本気で実感させる日	16
 22 日目：「チームで考える」経験を入れる日	16
 23 日目：「気づく力」に拍手が起きる日	17
 24 日目：「伝え合いの喜び」を広げる日	17
 25 日目：「自分たちのクラス」という誇りを育てる日	18
 26 日目：「クラスの“成長物語”」を振り返る日	18
 27 日目：「役割」への自信を確認する日	19
 28 日目：「関係が深まった瞬間」を味わう日	19
 29 日目：「5 月のわたし宣言」をする日	20
 30 日目：「ありがとう」で締めくくる日	20
 困ったときの Q&A	21
 最後に	24

1 日目からの具体的なポイント

1 日目：出会いがすべてを決める日

☑ 今日やること

- 教室を「安心の空気」で満たす
- 第一声は明るく、ゆっくり、はっきりと
- 「今日は自己紹介だけ」で OK。無理に進めなくていい

💬 今日の言葉かけ

「このクラスを、みんなと一緒につくっていくのが楽しみです」

裏技

- 名前を 1 人でも多く覚える努力を見せる
- 一人ひとりの顔を見て話す（“みんな”ではなく“あなた”に）

▶ 気をつけること

- 説教・ルール説明から入らない。笑顔を大切に。

2 日目：ルールを「与える」前に、“理由”を話す日

☑ 今日やること

- 学級の「目指す姿」や「願い」を共有
- ルールの前に、「どんなクラスにしたいか」を語る

💬 今日の言葉かけ

「安心して過ごせるクラスを、みんなと一緒に目指したいです」

裏技

- 話す前に黒板に「理想のクラスって？」と書いて、全員の意識を集中
- 自分の失敗談から話すと、親近感アップ

▶ 気をつけること

- 一方的にルールを与えすぎない。「なぜ？」に答える形で説明する

3 日目：「日常の流れ」を覚えてもらう日

☒ 今日やること

- 朝の会～帰りの会までの基本的な流れを体験させる
- 授業の入り方・終わり方もシンプルにそろえる

今日の言葉かけ

「一緒にやってみよう。間違っても大丈夫だからね」

裏技

- 時計のイラストを使って1日の流れを示す
- 自分がやって見せてから、子どもにやらせる（モデリング）

気をつけること

- 指示が多すぎないように。「3つだけ」など、数を絞る

4 日目：「リーダーを育てる」仕掛けを始める日

☒ 今日やること

- 「係」「当番」「リーダー的役割」を紹介
- 自主的に動く子をほめて、見える形で称賛する

今日の言葉かけ

「〇〇さんみたいに“気づいて動ける人”が、このクラスを支えてくれるんだね」

裏技

- 名前を黒板に書いて「ヒーロー」として見える化する
- 子ども同士で「ありがとう」を伝え合う流れをつくる

気をつけること

- 一部の子ばかりに役割が偏らないように注意

5 日目：「安心のサイン」を送る日

☑ 今日やること

- 1 週間頑張ったことを認めて伝える
- クラス全体に「落ち着いてきたよ」というポジティブな空気を流す

💬 今日の言葉かけ

「今週の〇〇な姿、すごくよかった。来週も楽しみだね」

裏技

- 一人ひとりに「観てるよ」と伝わるフィードバックを
- 「今週の成長シーン」を 1 人だけでも黒板に紹介する

▶ 気をつけること

- 注意や反省ばかりにならないように。「前進」を伝える

6 日目：「係活動」をクラスの“誇り”にする日

☑ 今日やること

- 係活動スタート
- 「仕事を与える」のではなく、「クラスを動かす誇りの役割」として伝える

💬 今日の言葉かけ

「このクラスがうまく回ってるのは、みんなが支えてくれてるからだね」

裏技

- 係紹介をショートプレゼン風にすると、自分ごとになる
- 係カードや名札を渡すと“本気モード”に変わる

▶ 気をつけること

- 仕事の有無や難易度に差が出すぎないように調整する

7日目：日常の「ルーティン」を“無意識”にする日

☑ 今日やること

- 朝の会や帰りの会、授業の入り方など、繰り返しを徹底
- 「何も言わずにできる」状態を少しずつ育てる

💬 今日の言葉かけ

「昨日よりスムーズだったね。気づいて動いてくれるのがすごくうれしい」

裏技

- ルーティンは「声かけ→手本→全体で」の流れで定着
- 曜日ごとに一つのルーティンに集中するのも効果的

▶ 気をつけること

- できてない子を責めない。できてる子に「ありがとう」で伝える

8日目：1週間のふり返りと「小さな感動」を共有する日

☑ 今日やること

- 1人ずつふり返りタイム（文章 or 発言）を入れる
- 友達のがんばりをクラスで共有する時間をつくる

💬 今日の言葉かけ

「〇〇さんのこんな行動に気づいていたよ。すごくよかったね」

裏技

- 「自分が今週できたこと」と「誰かのすてきな行動」を書かせる
- 書いた内容をランダムに読み上げると盛り上がる

▶ 気をつけること

- 自分の名前が出なかった子も、教師が補足して全員をフォロー

9 日目：「チャレンジする空気」を生む日

☒ 今日やること

- 授業中、前に出て発表したり、挑戦した子をしっかり称賛
- 「失敗 OK」「挑戦をたたえる文化」を言葉にして与える

今日の言葉かけ

「やってみる勇気が、クラスの空気を変えてくれるよ」

裏技

- 小さなチャレンジに名前をつけて称賛（例：「初☆発表賞」）
- 「挑戦したら拍手」の文化をクラスでつくる

気をつけること

- 正解を重視しすぎない。プロセスを見てほめる

10 日目：「先生と子ども」の距離を縮める日

☒ 今日やること

- 休み時間や下校時に“名前＋行動”で声かけを増やす
- 雑談の中に“自分を知ってもらおう”一言を添える

今日の言葉かけ

「〇〇くんって、意外とこういうところあるんだね。先生好きだよ、そういうの」

裏技

- 名前＋エピソードでの声かけ（例：「今日のあのとき、助けてくれたの見てたよ」）
- 「先生もね…」と、さりげなく自分の話を混ぜて親近感を演出

気をつけること

- 子どもを品定めしない。「期待」「興味」で関わること

11 日目：話の聴き方を「文化」に変える日

今日やること

- ・ 話す人を見て聴く／うなづく／反応する = “聴き方 3 か条”の練習
- ・ 発表や先生の話に、自然に反応が返ってくる空気をつくる

今日の言葉がけ

「話す人が安心できるのが、このクラスのすてきなところだね」

裏技

- ・ 話の「前後」で反応する練習（前：うなづく、後：拍手や感想）
- ・ 聴く態度がすてきな子に注目して言葉で賞賛する

気をつけること

- ・ 無理にそろえさせない。「反応することって気持ちいい！」の体験を与える

12 日目：「目が合う安心感」を広げる日

今日やること

- ・ 朝の会・帰りの会・授業などで、全体に目を配って話す練習
- ・ 子どもにも「目線で伝える力」を意識させる

今日の言葉がけ

「〇〇さん、先生と目が合ってニコッとしてくれたね。すごくうれしかったよ」

裏技

- ・ 「目を合わせてありがとうカード」を導入（感謝を伝える習慣）
- ・ あいさつでしっかり目を見ると、一日が変わる

気をつけること

- ・ 無理に見させるのではなく、「見てよかった」という経験を積ませる

13 日目：「できた子」より「頑張った子」に注目する日

今日やること

- 今日一日で「挑戦した子」「前よりよくなった子」をピックアップして紹介
- 成果よりも“過程”を見てほめる日

今日の言葉かけ

「うまくいかなかったけど、あきらめなかったよね。その姿が一番かっこよかった」

裏技

- 授業の最後に「今日の成長シーンランキング」
- 子どもに「誰のがんばりが印象に残った？」と聞いて共有

気をつけること

- 「できる子ばかりが評価される」空気をつくらないように意識する

14 日目：「対話」がうまれる教室に近づく日

今日やること

- 子ども同士で「問いかけ合う」活動を入れる（ペアトークや意見交換）
- 話す・聴くの切り替えを意識して練習

今日の言葉かけ

「〇〇さんの質問が、クラスの学びを深めたね。ナイス！」

裏技

- 授業中に「誰かの意見を受けて言いたい人？」という投げかけを増やす
- 子どもが子どもに感想を言う機会を設ける

気をつけること

- 会話が偏らないように、いろんな子が参加できる仕掛けを入れる

15 日目：「先生が観てくれてる」安心感を届ける日

☒ 今日やること

- 個別対応を意識する。下校時やすき間時間に一言声かけ
- ノートやワークにも「見てるよ」のコメントを入れる

今日の言葉かけ

「〇〇さんのあのノート、すごく工夫されててうれしかったよ」

裏技

- 名前＋具体行動＋感情をセットで伝える（例：「丁寧に色を塗ってたね。感心したよ！」）
- 書いたもの・提出物などを通じて“見てる”を表現

気をつけること

- 声かけの対象が偏らないようにリスト化してチェック

16 日目：「ミスしても大丈夫」を伝える日

☒ 今日やること

- 小さな失敗を笑って受け止める雰囲気づくり
- チャレンジしたうえでのミスに価値を与える

今日の言葉かけ

「やってみたからこそ気づけたね。すごく大事な失敗だったよ」

裏技

- 教師自身の失敗談をひとつ紹介して、共感と安心を届ける
- クラスに「失敗ノート」や「チャレンジ賞」を用意すると効果的

気をつけること

- ミスを咎める空気が生まれないように、“挑戦したこと”を最優先に認める

17 日目：「係活動」に息を吹き込む日

☒ 今日やること

- 係の活動内容に「自分たちで工夫する自由」を与える
- 教師は「任せて見守る」スタンスへシフト

今日の言葉がけ

「どうすればもっとよくなるか、みんなでアイデア出してみようか」

裏技

- 係の工夫を掲示板や黒板で“見える化”して称賛
- 「係だより」「活動報告会」など発信の場を設けると盛り上がる

気をつけること

- 教師が“指示役”になりすぎないように注意。「任せる」姿勢を明確にする

18 日目：「誰かのために動ける人」を育てる日

☒ 今日やること

- 困っている子に気づいて手を差し伸べた行動を全体に紹介
- 「自分以外を見る目」の価値を言葉で与える

今日の言葉がけ

「〇〇さんが手伝ってくれたの、先生見てたよ。ありがとう。すごくうれしかった」

裏技

- 「ありがとうカード」をスタート（子ども同士で感謝を伝える仕組み）
- 毎日 1 枚紹介する時間をつくと感謝があふれる

気をつけること

- “おせっかい”と感じる子への配慮も忘れずに。助け合いは自由の中で行われることを大切に

19 日目：授業中の「集中力」を高める日

今日やること

- 授業の導入で「今日のねらい」「楽しみポイント」を明確に伝える
- 授業が“わかる・できる・動ける”空気をつくる

今日の言葉かけ

「今日の授業、みんなの集中力がすごかったよ。先生もびっくりした」

裏技

- 3 分間集中→1 分ほめるのリズムを意識
- 見せ場の直前に「ここ、先生楽しみにしてたんだよ」と伝ええると集中力が上がる

気をつけること

- 長時間の話しすぎ注意。テンポと“動き”を入れることを忘れずに

20 日目：「空気を感じて動ける子」を育てる日

今日やること

- 声をかけられる前に動いた子をしっかりと紹介&称賛
- 周囲の様子を見て行動する力を「見える言葉」で与える

今日の言葉かけ

「先生が言う前に〇〇くんが動いてくれたの、本当に助かったよ！」

裏技

- 「空気を読む＝気を利かせる」ではなく、「気づける力」として伝える
- 黙って動いた子にも“名指し”で称賛を忘れずに

気をつけること

- “気が利く子”だけを称えるのではなく、「気づこうとする姿勢」に注目する

21 日目：「子どもが主役」を本気で実感させる日

☒ 今日やること

- 子どもが進行・説明・運営する場面を意識的につくる（朝の会・係活動など）
- 教師は“見守り役”に徹する時間をもつ

今日の言葉かけ

「〇〇さんの進行、とってもわかりやすかったよ。任せてよかった！」

裏技

- 進行係にマイクや司会カードなど、ちょっと特別なアイテムを持たせるとやる気 UP
- 教師が一步引く勇気をもつと、子どもは育つ

気をつけること

- ミスがあっても止めない。「リカバリーも力のうち」という視点で見守る

22 日目：「チームで考える」経験を入れる日

☒ 今日やること

- グループ活動での「相談・調整・決定」をあえて任せてみる
- 教師はファシリテーターに徹する

今日の言葉かけ

「自分の考えを伝えるだけでなく、相手の意見も取り入れてたのが素敵だったね」

裏技

- グループごとにミッションカードを用意して、“自分たちで達成感を味わう”仕組みに
- 活動後、「チームでよかった瞬間」をふり返る時間をとる

気をつけること

- うまくいかないグループにも「過程を評価」する声かけを忘れない

23 日目：「気づく力」に拍手が起きる日

今日やること

- 誰かの気づきを全体で共有して拍手する文化を強化する
- 「ささいな善意」をクラスで価値づける時間をつくる

今日の言葉かけ

「〇〇くんが落ちてたプリントをそっと拾ってくれたの、すてきだったね」

裏技

- 「今日の気づきヒーロー」など、クラスの中で称賛タイムを固定化する
- 子ども同士で“発見”を伝える仕掛け（気づきメモなど）を入れると自然に広がる

気をつけること

- 「人目を気にしての行動」にならないよう、自然な動きを肯定する視点をもつ

24 日目：「伝え合いの喜び」を広げる日

今日やること

- 誰かの考えや行動を「伝えてみよう」「ほめてみよう」の時間を設ける
- ポジティブな言葉を使う練習に取り組む

今日の言葉かけ

「〇〇さんの“伝え方”がやさしくて、言われた方もきっと嬉しかったね」

裏技

- 「今日のありがとうスピーチ」など、感謝や思いを短く伝える活動を取り入れる
- “書いて伝える”→“話して伝える”のステップにするとハードルが下がる

気をつけること

- 恥ずかしがる子には「カード形式」「匿名で伝える」など段階的にアプローチ

25 日目：「自分たちのクラス」という誇りを育てる日

今日やること

- クラスでの出来事や行動を「このクラスらしさ」として価値づけて伝える
- ポスターづくりや写真掲示など、“可視化”する活動を取り入れる

今日の言葉がけ

「今のこのクラスの雰囲気、先生すごく好きだな。みんなでつくってるって感じがするよ」

裏技

- 「うちのクラスのここがすごい！」発表会を実施すると自信が育つ
- 写真＋一言コメントで、成長の軌跡を掲示していくと誇りにつながる

気をつけること

- “一部の子の頑張り”に偏らないよう、全体を見渡した表現を心がける

26 日目：「クラスの“成長物語”」を振り返る日

今日やること

- 1 か月の歩みを振り返るミニふり返りタイム（「印象に残った日・出来事」）
- 教師からもクラスへのメッセージを贈る

今日の言葉がけ

「この 1 か月、本当にいろんなことがあったよね。みんなでつくった物語だね」

裏技

- 時系列で写真や掲示物を振り返って紹介すると効果的
- 教師が自分の印象に残っているシーンを語ると、子どもは誇らしく感じる

気をつけること

- 全員が何かしら思い出せるように、ヒントや写真を活用する

27 日目：「役割」への自信を確認する日

☒ 今日やること

- 係や当番、掃除など“自分の役割”に対する自信と満足感をふり返る
- 仲間の働きへの感謝を共有する

今日の言葉かけ

「〇〇さんの係の仕事、ずっと丁寧が続けてくれたの、先生ちゃんと見てたよ」

裏技

- 「自分の係でよかったこと・次にやりたいこと」をワークシートで書かせる
- 係ごとに表彰式や記念の写真撮影をするとやる気 UP

気をつけること

- 活動が目立たなかった係や子にも「見ていたよ」という声かけを必ず行う

28 日目：「関係が深まった瞬間」を味わう日

☒ 今日やること

- 友達との関係で「うれしかったこと・助けられたこと」を書いて共有
- クラスに「信頼のつながり」を言葉で刻む

今日の言葉かけ

「〇〇さんと〇〇さんの関わり、見ていて本当にあたたかい気持ちになったよ」

裏技

- 「ともだちエピソードしおり」などをつくると記念にもなる
- ワーク後に「読み聞かせ風」に紹介すると教室があたたまる

気をつけること

- 友達関係に不安がある子には個別のふり返り対応を。安全感を大事に

29 日目：「5 月のわたし宣言」をする日

☑ 今日やること

- 「次の 1 か月で挑戦したいこと・なりたい自分」を明文化
- 未来への視点をもたせて前向きな区切りに

💬 今日の言葉がけ

「1 か月でこれだけ変わったんだもん。5 月もきっと、いい自分に出会えるよ」

裏技

- 「4 月の自分 → 5 月の自分」ビフォーアフターで記録すると、変化が明確に
- “宣言シート”を教室に掲示すると継続への意欲が高まる

▶ 気をつけること

- 数字目標よりも“気持ち”や“行動”に焦点をあてた目標にする

30 日目：「ありがとう」で締めくくる日

☑ 今日やること

- 1 か月の感謝を届け合う「ありがとうメッセージタイム」
- 教師も一人ひとりに感謝の気持ちを伝える

💬 今日の言葉がけ

「1 か月間、先生を信じてついてきてくれてありがとう。とても幸せでした」

裏技

- メッセージカードを配布し、書いて渡す形にすると心がこもる
- 教師からも手紙や全体への“贈る言葉”を渡すと強い余韻が残る

▶ 気をつけること

- 感謝が「上手に書ける子」だけに偏らないよう、心のこもった声かけで全員を包み込む

? 困ったときの Q & A

～トラブル・ざわつき・指示が通らないときの処方箋～

Q1. トラブルが起きたら、まず何をすればいい？

◆ A：事実を確認し、「感情」に寄り添うことから始めましょう。

- いきなり叱らない・裁かないことが大切です。
- 起こった出来事を「誰が、いつ、何を、どのように」冷静に確認します。
- そのうえで、子どもの気持ちをしっかり受け止める声かけを。

💬 使える言葉かけ

「嫌だったよね。話してくれてありがとう」

「何があったのか、順番に教えてくれる？」

✅ ポイント

- 感情が高ぶっているときは、“その場では収める”ことに集中。
 - 本格的な話し合いは、落ち着いた時間にあらためて行いましょう。
-

Q2. クラスがざわついて、静かにならないときは？

◆ A：静かにしてほしい理由を「伝える」より、「感じさせる」言葉に変えましょう。

- 「静かにして！」だけでは、逆効果になることがあります。
- まずは**“立ち止まる空気”**をつくる工夫を。
- 声のトーンを下げる／黒板に一言だけ書く など、視覚的・聴覚的に“変化”を与えるのが効果的です。

💬 使える言葉かけ

「大事な話だから、耳を貸してくれるとうれしい」

「今、集中してくれてる人に話したいな」

✅ ポイント

- 一斉指導が難しいときは、「近くの子にそっと話しかける」ことで波をつくる。
- 静けさよりも、「聴こうとする姿勢」を増やすことに意識を向けましょう。

Q3. 「一部の子」が空気を乱すときは？

◆ A： “その子以外”の子を味方につける言葉かけが有効です。

- 問題行動をした子に直接向き合う前に、「周囲の子の動き」に注目して言葉をかけていくことで、空気が整います。
- 子どもは「注目されている」「期待されている」と感じると、行動が変わることがよくあります。

🗨️ 使える言葉かけ

「〇〇さん、静かに待っていてくれてありがとう。先生助かるよ」
「〇〇くんのその姿、クラスを守ってるね」

✅ ポイント

- 問題行動が“注目を集める手段”にならないようにする。
- 全体の雰囲気整ったあとで、個別に対応するのが効果的です。

Q4. うまくいかなくて、自分が落ち込んだときは？

◆ A： 「やっていること」に意識を向けて、立て直す時間を取りましょう。

- 若手のうちは、「うまくいかない日」があっても当然です。
- まずは、**毎日1つでも「やっていること」**を自分に言葉で与えてください。

🗨️ 自分への声かけ（セルフトーク）

「今日は、あの子に笑顔で声をかけられた。それだけでも十分だ」
「昨日より、〇〇がうまくできた」

✅ ポイント

- 気持ちをノートに書き出すだけでも冷静になれます。
- 信頼できる先輩や仲間に「ちょっと聞いてください」と声をかけるのも勇気です。

🎁 お守りのように使ってください

困ったときは、この Q&A を見て、まず「**落ち着く**」ことが最優先。
一歩引いて、子どもを、そして自分を見つめ直すきっかけにしてください。
先生が安心しているとき、子どもたちも自然と落ち着きます。

☑最後に

あなたのクラスが、1 か月で安定する理由

毎日、ひとつの行動に意味を込めてきたあなた。

この 30 日間で積み重ねてきたのは、ただの“指導”ではありません。

信頼・安心・対話・挑戦・感謝。それらすべてが、クラスに「文化」として根づき始めています。

クラスが安定するというのは、「問題が起きない」ことではなく、

“問題が起きても立て直せる関係”があることです。

あなたと子どもたちは、まさにその関係を築きはじめました。

ここまでの 30 日で、“教師が動かすクラス”から“子どもが動くクラス”へと、一歩ずつ進んできました。

でも、本当の学級経営はここからが本番です。

■ この 30 日後の“次の 30 日”が、学級の未来を変えます

- ☒ 自分で動く子がもっと増える
- ☒ トラブル対応に迷わなくなる
- ☒ 子ども同士で学び合う空気が生まれる

そんな学級を育てていくために、「学級経営・実践編」教材もご用意しています。

この PDF で“基盤”をつくったあなたには、次のステップで**“飛躍”**が待っています。

先生としての成長は、いつも子どもとともにあります。

あなたの教室が、明日もあたたかい空気に包まれていますように。

ご活用、ありがとうございました。